



日本共産党高島市議団
森脇 徹 議員



問 コロナ禍で米価が連続下落。農業を担う就農青年の支援策拡充を。

答 市長
新規就農者には、県やJA等のサポート体制を構築し、経営技術や資金、農地確保への支援を行っています。経営開始から5年後の自立へ向け、国の農業次世代人材投資資金を活用し就農定着と経営発展を進めており、支援拡充は考えていません。

農業政策における就農への支援のあり方について

問 コロナ禍で米価下落。農家に展望を示し、就農青年に支援拡充が必要では

答 市長
県やJA等のサポート体制があり、国の農業次世代投資資金の活用もあるため、市の拡充策は考えていません。

問 新旭町藁園地先での大規模イチゴ園事業補助金4億4千万円を予算可決したが、国は「不採択」。議会に報告がないが。

答 市長
多数の申請がある中で当該法人は次点となり、再度エントリーをしたとのこと意向です。議会には、補助金の採択経過の報告はこれまでからしていません。

問 報告がないので情報公開請求したところ、来年度もエントリーすることがわかった。県は大規模ハウスを見直すことを指導しているが、克服できての申請か。議会としても議論に関わる必要があるか。

答 市長
事業者の計画内容に市がす

べて責任を持つものではありません。国や県と意見をすり合わせた上で行っているものと考えています。

問 大規模イチゴ園は38棟で、その内の2割をもぎ取り観光イチゴ園にする計画だが、市内12イチゴ農家のハウス50a分に匹敵するものだ。イチゴ狩りに来る方は、道の駅のイチゴを買わず競合する。話し合いが必要ではないか。

答 市長
今年3月の予算委員会を担当部局から市内生産農家とは競合しない旨の答弁をしています。既存事業者との競合の懸念はわからなくはありませんが、市が調整する立場にはなく、事業者判断で経営改革や努力をされるべきものと考えています。

新型コロナデルタ株に立ち向かう医療保健体制充実を

問 市内の自宅療養者は全員が医療管理下のもと、安心できる自宅療養体制がとれているか。

答 市長
保健所では、市医師会の協力により診療や薬剤の処方などの対応をし、健康観察や相談業務等の一部を訪問看護に委託するなど、自宅で安心して療養できる体制を整えられています。

問 感染された妊産婦の受け入れや、両親が陽性で子が陰性の場合の病院措置は可能か。

答 病院事業管理者
妊産婦に限らず、県の要請により可能な限り陽性患者を受け入れています。また、家族感染によりご家庭でお子さんを見られない状況となった場合は、症状により同室での入院などを行っています。

その他の質問

○「百年の森高島」を次代に引き継げる林業政策を